


履 歴 書					
ふりがな 氏 名	だいがく たろう 大 学 太 郎	男・女	現 住 所	〒***-***** 大分市×××●丁目●番 地●●	(写真)
生年月日 (年齢)	昭和●●年●●月●●日 (●●歳)		連 絡 先 電 話 番 号 E-mail	0**-***-***** *****@***.**.jp	
学 歴					
年 月	事 項				
昭和●●. ● ●●. ● 平成●●. ● ●●. ● ●●. ●	○○県立○○高等学校 卒業 ○○大学○○学部○○学科 入学 同 上 卒業 ○○大学大学院○○研究科 入学 同 上 修了				
学 位 ・ 免 許 ・ 資 格					
年 月	事 項				
平成●●. ● ●●. ● ●●. ●	学士 (○○学) (○○大学) ※ 学位を必ず記載してください。 ○○免許 (第○○○○○○○号) 平成3年3月までは○○学士, ○○博士, 博士 (○○学) (○○大学○○第○○○号) それ以降は学士 (○○), 博士 (○○) と なりますので注意願います。				
職 歴					
年 月	事 項				
平成●●. ● ●●. ● ●●. ●	○○大学○○医学部○○学 助手 ○○研究所 研究員 ○○大学○○医学部○○学 准教授  現在に至る				
賞 罰					
年 月	事 項				
平成●●. ●	日本○○学会○○賞 受賞				
上記のとおり相違ありません。					
令和●●年●●月●●日					
氏 名 大 学 太 郎					
					

- 注) 1 年齢は, 任用予定年月日で記載してください。
- 2 「学歴」欄は, 高校卒業以後のすべての学歴について記入してください。
- 3 「職歴」欄は, 職歴のすべてについて記入し, 職名, 地位等についても明記してください。
- 4 「写真」欄は, 大分大学教員の場合は不要です。

学会及び社会における活動等 (所属学会 ; 役職等)	
年 月	事 項
平成〇〇年 〇月	日本△△科学会 会員
平成〇〇年 〇月	◎◎◎◎科学会 評議員

業績目録 学位論文, 原著, 症例報告, 総説, 著書等, 主要学会での発表の別に,

それぞれまとめ, 印刷してください。

氏名 大学 太郎

類別	番号	著者名(発表者名) 全員の氏名を記載順に記入してください。 学位論文(題目・誌名・巻・初頁～終頁・年・インパクトファクター), 原著(題目・誌名・巻・初頁～終頁・年・インパクトファクター・査続の有無), 症例報告(題目・誌名・巻・初頁～終頁・年・インパクトファクター・査続の有無), 総説(題目・誌名・巻・初頁～終頁・年・インパクトファクター・査続の有無), 著書等(分担項目名・書名・初頁～終頁・発行所・年・査続の有無), 主要学会での発表(題目・会名・年; シンポジウム・特別講演等の別)
学位論文	○	*大学太郎. 〇〇〇〇における△△△△の形態計測的研究 —××××学的所見との関係— 臨床神経 20:31-39, 1982
原著	1	*大学太郎. 〇〇〇と△△△△との関連. 九州神経精神医学 7: 263-266, 1992 査続: 有無
	2	*Daigaku T., Oita J., Monka S. Stemlin he.....of .... DNA in he..... carcinoma. Am. J. Surg. Pathol. 10: 789-794, 1994. (IF:〇〇) 査続: 有無
	③	#Oita J., #Daigaku T., Monka S. Human uuu... imm...RNA...factor... cancer cells. J. Cancer 19: 452-458, 1995. (# equal contribution) (IF:〇〇) 査続: 有無
	④	Oita J., Monka S., *Daigaku T. Abnormal hu..... imm..... to mu.....Stimu... in .... with lung cancer. Cancer 69: 2252-2257, 1996. (IF:〇〇) 査続: 有無
	⑤	*大学太郎. 〇〇〇〇からみた薬剤の△△と××法: 髄膜炎(〇〇性・△△性・×××性). 医学と薬学 22: 801-809, 2001. 査続: 有無
症例報告	1	*大分二郎, 大学太郎, 文科省一. 〇〇〇〇を認めた△△△△硬化症の2例. 神経内科 31: 104-108, 1993. 査続: 有無
総説	1	Oita J., Daigaku T. 〇〇性△△炎. ×××科ハンドブック(山田◇◇編), 150-250, 南江堂, 東京, 1992. 査続: 有無
	②	*大学太郎, 大分二郎. Port..... sh..... Pit... and Comp... in the Dia... Disease (ed. by N. J. Ly..... and M. Ma.....), 475-484, Georg Thieme Verlag, N Y, 1993. 査続: 有無
著書等	1	Daigaku T., Monka S. Mucosal..... against bacterial ..... in the nose. VIV World Congress of .....gy Head and Neck Surgery, Round Table, 1989, Madrid, Spain. 査続: 有無
学会発表	1	大学太郎, 山田花子, 文科省一 〇〇〇〇領域レーザーサーミア臨床の△△△△に関する研究. 第×回レーザーサーミアシンポジウム 1995. 8. 犬山市.
	2	大学太郎, 〇〇〇〇における△△△△と××××の変動について. 第〇〇回臨床△△学会総会 1998. 10. 千葉市.
その他	1	一般演題 上記ほか〇〇回 大分二郎, 大学太郎, 文科省一. 〇〇〇〇を行う△△△△システムの検討. 神経内科 31: 104-108, 1993.
		(全ての業績) 原 著 77編(和文50編, 内ファーストオーサー17編) (欧文27編, インパクトファクター計〇〇点) (内ファーストオーサー 8編, インパクトファクター計〇〇点) (内コレスポ ンディング オーサー 2編, インパクトファクター計〇〇点) 症例報告 10編(和文 5編, 内ファーストオーサー 2編) (欧文 5編, インパクトファクター計〇〇点) (内ファーストオーサー 1編, インパクトファクター計〇〇点) (内コレスポ ンディング オーサー 0編, インパクトファクター計〇〇点) 総 説 25編(和文15編, 内ファーストオーサー 7編) (欧文10編, インパクトファクター計〇〇点) (内ファーストオーサー 8編, インパクトファクター計〇〇点) (内コレスポ ンディング オーサー 1編, インパクトファクター計〇〇点)

著書等	30編 (和文20編, 内ファーストオーサー15編) (欧文10編, 内ファーストオーサー5編)
その他	2編 (和文2編, 内ファーストオーサー1編) (欧文0編, 内ファーストオーサー0編)
シンポジウム, 特別講演等	25回 (内トップネーム20回)
一般演題	国際学会 30回 (内トップネーム25回) 国内学会 50回 (内トップネーム39回) 地方学会 15回 (内トップネーム12回)